

第127回幹事会議事要旨

日時 平成23年6月23日(木) 13:30~16:00

場所 日本学術会議大会議室

出席者 (会長代理) 唐木 英明

(副会長) 大垣眞一郎、広渡 清吾

(第一部) 小林 良彰、木村 茂光、白田 佳子

(第二部) 浅島 誠、山本 正幸、鷲谷いづみ

(第三部) 岩澤 康裕、後藤 俊夫、池田 駿介、永宮 正治

(事務局長) 齋藤 敦

(事務局次長) 飯島 信也

(課長等) 清水 誠、上平 春樹、中澤 貴生、石原 祐志、渡部 良一

審議事項等

1 前回議事要旨の確認が行われた。

2 以下の公開審議が行われた。

(1) 分野別委員会における分科会委員の決定(1件)が承認された。

(2) 大学教育の分野別質保証推進委員会の設置、設置要綱の決定、委員会委員の決定が承認された。

(3) 提言「ODAの戦略的活性化を目指して」(案)について、地域研究委員会国際地域開発研究分科会の藤田昌久副委員長、黒崎卓幹事、園部哲史委員から説明があり、審議の結果、所要の修文について第一部が責任を持つこと条件に承認された。

(4) 提言「よりよい高齢社会の実現を目指して - 老年学・老年医学の立場から」について、臨床医学委員会老化分科会の横出正之幹事、荒井秀典委員から説明があり、審議の結果、所要の修文を第二部が責任を持つこと条件に承認された。

(5) 提言「障害福祉統計の整備について - 根拠に基づく障害者福祉にむけて -」について臨床医学委員会障害者との共生分科会の岩谷力委員から説明があり、審議の結果、所要の修文について第二部が責任を持つことを条件に承認された。

(6) 提言「エビデンス創出目指す検証的治療研究の推進・強化に向けて」について臨床医学委員会臨床研究分科会の大野竜三委員長から説明があり、審議の結果、所要の修文について第二部が責任を持つことを条件に承認された。

(7) 報告「エネルギーと科学・技術についてのアジア諸国との連携強化」について総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会の井上孝太郎委員長、伊藤公孝幹事から説明があり、審議の結果、所要の修文について第三部が責任を持つこと条件に承認された。

(9) 規則関係について、日本学術会議会則の一部を改正する規則について総会の議決を求めることが承認された。

(10) 国際会議関係について、日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規の一部改正が承認された。また、1件の国際会議の後援が承認された。

(11) 日本学術会議協力学術研究団体の指定(3団体)が承認された。

- (12) 9件のシンポジウム等の主催、3件の国内会議の後援が承認された。
- (13) その他として「日本学術会議の機能強化について」が承認された。

3 以下の非公開審議が行われた。

- (1) 補欠の会員候補者の選考及び補欠の会員所属部の決定について総会の議決を求めることが承認された。
- (2) 会員候補者の選考について総会の議決を求めることが承認された。
- (3) 分野別委員会における小委員会委員の決定（1件）が承認された。
- (4) 大学教育の分野別質保証推進委員会における委員会委員（特任連携会員）の決定（1件）が承認された。
- (5) 賞候補者の推薦（1件）が承認された。
- (6) 連携会員の辞職が承認された。

4 今後の予定の確認が行われた。